

CHUNICHI DRAGONS
中日ドラゴンズ
 Draft strategy **ドラフト戦略分析**
今の雰囲気につけない選手を指名したい

戦力充実度	投手		捕手	内野手		外野手	
	右	左		右	左	右	左
	B	B	B+	C+	B	B	B

自分を持っている選手

来季の体制はまだはつきりしないが、投手重視のドラフトになることは間違いない。

真つ先に名前が挙がるのは、やはり創価大・田中正義。最終学年のシーズンはケガに泣かされたが、秋には復調。多くのスカウトが胸をなで下ろした。ただ、肩のケガということもあり、リスクを回避する球団も出てくるだろう。中日は過去、肩を故障していた大野雄大(2010年・1位)を指名し

たこともあるが、その時のような余裕が今はない。

リスクが少なく、即戦力度の高い投手となれば柳裕也(明治大)の名前が挙がる。140キロ中盤のストレートに、どろんどろんと変化するカーブは即戦力だ。日米大学野球でアメリカ代表から7者連続三振を奪ったのは記憶に新しい。

精神的にも強く、自分をしっかりと持っている選手で、いろいろ揺れている中日の中に入っても多少のことでは動じないだろう。

リリーフの即戦力としては加藤拓也(慶應義塾大)が候補。先発もできるが、パワータイプのピッチングスタイルはリリーフのほうがより生きる。壁にぶつかっている福谷浩司の刺激にもなる。

堂上にメドは立ったが…

堂上直倫が遊撃手としてメドが立ったが、二遊間の層にまだ不安が残る。地元選手の源田壮亮(トヨタ自動車)は遊撃の守備は職人級だが、打撃がネック。


中山悠輝(東京ガス)は強肩強打のシヨート。三遊間の深いところから刺せる肩と、ライナー性の

補強ポイント&オスমে選手

補強ポイント 即戦力投手

1 周りに左右されないストイックさ


柳 裕也 投手 / 右投右打 明治大



補強ポイント 右打ちの二遊間

2 若いが、自分の野球観を持っている


中山 悠輝 遊撃手 / 右投右打 東京ガス



補強ポイント 即戦力リリーフ

3 戦う気持ちに溢れた剛球投手


加藤 拓也 投手 / 右投右打 慶應義塾大



補強ポイント 地元育ちの投手

4 爽快感ある投げっぷりで雰囲気を一新


中尾 輝 投手 / 左投左打 名古屋経済大



補強ポイント 雰囲気を変える元氣印

5 気持ちを一つに戦う集団へ

板倉 健人 遊撃手 / 右投右打 日本新薬



育成中の主な若手選手&ファーム成績

年齢	選手名	試	勝	敗	S	防	1軍
~20	小笠原慎之介*	9	3	2	0	4.93	○
~20	呉屋開斗*◇						出場なし
21	吉田嵩◇						出場なし
21	岸本淳希◇	5	0	0	0	1.80	
22	鈴木翔太	2	0	0	0	6.75	
23	山本雅士	17	1	2	0	2.31	
23	濱田達郎*	10	0	1	0	3.10	○
24	中川誠也*◇	2	0	0	0	12.00	
24	西濱幹純◇						出場なし
24	川崎貴弘◇						出場なし
24	野村亮介	11	3	1	0	5.25	
21	石垣幸大◇						出場なし

年齢	選手名	試	率	本	点	盗	1軍
21	藤吉優*◇	6	.000	0	0	0	
23	満臨隼人*	83	.252	2	23	7	○
24	渡辺勝*◇	60	.260	1	18	5	

*=左利き、◇=両打、◇=育成選手
 成績は9月10日現在 【1軍】は2016年1軍出場有無

1軍が低迷する中、2軍はソフトバンクと優勝を争った。目立つ成績を挙げている選手はいないが、2軍投手陣の与死球はリーグで2番目に多い46個。与四球はリーグ最少。小笠原道大2軍監督の「内角をしっかり突くように」という投球ができた証か。